

# PCB 汚染対策検討委員会WG 環境省



低濃度PCB汚染電気機器(柱上トランスを除く)は約120万台、それらに含まれるPCB量は約3トンであり、柱上トランス(再生絶縁油使用及び新油絶縁油使用)は推定汚染台数約331万台、それらに含まれるPCB量は約3.2トンであり、OFケーブルは推定汚染ケーブル長約1400km(絶縁油量約3600kl)、それらに含まれるPCB量は約20kgと推計されています。

廃棄物処理法において、廃 PCB 等については脱塩素化分解法等の化学処理や高温焼却処理、PCB 汚染物等については熔融分解法等や洗浄・分離等除去技術、高温焼却処理が既に処理方法として定められており、低濃度PCB汚染電気機器についても、法制度上はこれらの処理技術を用いて処理することは可能です。環境省としても既存の産業廃棄物処理施設等を活用した低濃度PCB汚染物処理の可能性の検証などにより、民間処理を支援していきたいとの説明がありました。

資料:平成17年度低濃度PCB汚染物対策検討委員会・第2回処理方策ワーキンググループ議事趣旨(案)

さいたま営業箇所 大堀重郎

The Knights of Environmental Science  
**内藤環境管理株式会社**

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字大田窪 2051 番地 2  
 TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817  
 U R L : www.knights.co.jp

事業内容

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析  | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明   | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定     |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 アスベスト・PCB等の化学分析     |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査  | 8 EU規制物質の化学分析         |

